

GA-8VM800M

Intel® Pentium® 4 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 1001



- * 製品の WEEE マークは、この製品を他の家庭ゴミと共に廃棄することを禁じ、廃棄電気電子機器のリサイクルのための指定収集場所に引き渡す必要を示しています！！
- * WEEE マークは EU 加盟国のみに適用されます。

目次

第 1 章 ハードウェアのインストール	3
1-1 取り付け前に.....	3
1-2 特長の概略	4
1-3 CPU とヒートシンクの取り付け	6
1-3-1 CPU の取り付け.....	6
1-3-2 ヒートシンクの取り付け	7
1-4 メモリの取り付け	8
1-5 拡張カードのインストール	9
1-6 I/O 後部パネルの紹介	10
1-7 コネクタについて	11

第1章 ハードウェアのインストール

1-1 取り付け前に

コンピュータを用意する

マザーボードには、静電放電(ESD)により損傷を受ける、様々な精密電子回路および装置が搭載されていますので、取り付け前に、以下をよくお読みください：

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. マザーボードを取り扱う際は、金属部またはコネクタに触れないでください。
3. 電子部品(CPU、RAM)を取り扱う際は、静電防止用(ESD)ストラップを着用してください。
4. 電子部品を取り付ける前に、電子部品を静電防止パッドの上、または静電シールドコンテナ内に置いてください。
5. マザーボードから電源コネクタのプラグを抜く前に、電源が切断されていることを確認してください。

取り付け時のご注意

1. 取り付ける前に、マザーボードに貼布されているステッカーを剥がさないでください。これらのステッカーは、保証の確認に必要となります。
2. マザーボード、またはハードウェアを取り付ける前に、必ず、マニュアルをよくお読みください。
3. 製品を使用する前に、すべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
4. マザーボードへの損傷を防ぐため、ネジをマザーボード回路、またはその機器装置に接触させないでください。
5. マザーボードの上、またはコンピュータケースの中に、ねじ或いは金属部品を残さないようにしてください。
6. コンピュータを不安定な場所に置かないでください。
7. 取り付け中にコンピュータの電源を入れると、システムコンポーネントまたは人体への損傷に繋がる恐れがあります。
8. 取り付け手順や製品の使用に関する疑問がある場合は、公認のコンピュータ技師にご相談ください。

保証対象外

1. 天災地変、事故又はお客様の責任により生じた破損。
2. ユーザマニュアルに記載された注意事項に違反したことによる破損。
3. 不適切な取り付けによる破損。
4. 認定外コンポーネントの使用による破損。
5. 許容パラメータを超える使用による破損。
6. Gigabyte 製品以外の製品使用による破損。

1-2 特長の概略

CPU	◆ HT テクノロジー対応 Intel® Pentium® 4 (Northwood, Prescott)用 Socket 478 ◆ 533/800MHz FSB をサポート ◆ L2 キャッシュはプロセッサにより異なります
チップセット	◆ ノースブリッジ: VIA P4M800 ◆ サウスブリッジ: VIA 8237R Plus
メモリ	◆ 2 184-ピン DDR DIMM スロット ◆ DDR400/333/266 DIMM をサポート ◆ 最大 2GB までサポート
スロット	◆ 4X/8X (1.5V)のデバイスをサポートする1個の AGP スロット ◆ 3 個の PCI スロット
IDE 接続	◆ 2 つの IDE 接続(UDMA 33/ATA 66/ATA 100/ATA 133)で、4 台の IDE デバイスに接続可能
オンボード SATA	◆ シリアル ATA 2 ポート
FDD 接続	◆ 1 つの FDD 接続で、2 台の FDD デバイスに接続可能
周辺装置	◆ 1 個のパラレルポートで通常/EPP/ECP モードをサポート ◆ 1 個の VGA ポート、1 個の COMA ポート、オンボード COMB 接続 ◆ 8 個の USB 2.0/1.1 ポート(後部 x 4、前部 x 4 ケーブル経由) ◆ 1 個のフロントオーディオコネクタ ◆ 1 個の PS/2 キーボードポート ◆ 1 個の PS/2 マウスポート
オンボード VGA	◆ 内蔵 VIA P4M800 チップセット
Onboard LAN	◆ オンボード RTL8201 チップ(10/100 Mbit) ◆ 1 個の RJ45 ポート
オンボードオーディオ	◆ Realtek ALC653 CODEC ◆ Line 入力をサポート; Line 出力; マイク入力 ◆ 2 / 4 / 6 チャンネルオーディオをサポート ◆ CD 入力接続
I/O コントロール	◆ IT8705
ハードウェアモニタ	◆ CPU ファン速度検出 ◆ システム電圧検出 ◆ CPU 温度検出

オンボード SATA RAID	◆ 内蔵 VT8237R Plus ◆ ディスクストライピング(RAID0)またはディスクのミラーリング(RAID1)をサポート ◆ 最大 150 MB/秒の UDMA をサポート ◆ 最大 2 台の SATA デバイスをサポート
BIOS	◆ ライセンス済み AWARD BIOS の使用 ◆ Q-Flash をサポート
その他の機能	◆ @BIOS をサポート ◆ EasyTune^(注)をサポート
オーバークロック	◆ BIOS によりオーバークロック(CPU/DIMM) ◆ BIOS によりオーバー電圧(DIMM)
フォームファクター	◆ Micro-ATX フォームファクタ; 24.4cm x 21cm

日本語

(注) EasyTune 機能はマザーボード毎に異なる場合があります。

1-3 CPU とヒートシンクの取り付け



注意

CPU を取り付ける前に、以下の手順に従ってください:

1. マザーボードが CPU をサポートすることを確認してください。
2. CPU の刻み目のある角に注目してください。CPU を間違った方向に取り付けると、適切に装着することが出来ません。装着できない場合は、CPU の挿入方向を変えてください。
3. CPU とヒートシンクの間にヒートシンクペーストを均等に塗布してください。
4. CPU のオーバーヒートおよび永久的損傷が生じないように、システムを使用する前に、ヒートシンクが CPU に適切に取り付けられていることを確認してください。
5. プロセッサ仕様に従い、CPU ホスト周波数を設定してください。周辺機器の標準規格に適合しないため、システムバス周波数をハードウェア仕様以上に設定しないことをお勧めします。仕様以上に周波数を設定する場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブ等を含むハードウェア仕様に従って設定してください。



注

ハイパースレディング機能に必要な条件:

ご使用のコンピュータシステムでハイパースレディングテクノロジーが有効となるには下記のプラットフォームコンポーネント条件を全て満たしている必要があります:

- ・ CPU: ハイパースレディングテクノロジー対応 Intel® Pentium 4 プロセッサ
- ・ チップセット: ハイパースレディングテクノロジー対応 VIA チップセット
- ・ BIOS: ハイパースレディングテクノロジー対応 BIOS およびその設定が有効になされる
- ・ OS: ハイパースレディングテクノロジー対応の最適化機能を有するオペレーティングシステム

1-3-1 CPU の取り付け

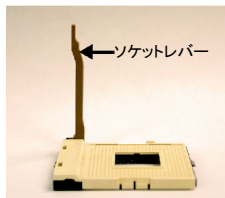


図1

レバーを 90 度角に配置します。

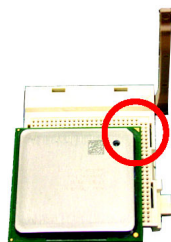


図 2

CPU の一角に金色の矢印が付いています。この印の側をソケットの CPU レバーに近い側に合わせてください。CPU のピンが穴に合うように置いてください。

CPU がソケットに装着された後、CPU 中央に指を一本押し付けながら、金属レバーを元の位置に静かに戻してください。



注意

CPU 取り付け時には細心の注意を払ってください。配置が正しくない場合、CPU を取り付けることは出来ません。力任せではなく、CPU 位置を変更してください。

1-3-2 ヒートシンクの取り付け

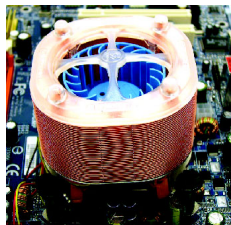


図 1
ヒートシンク取り付け前に、CPU 表面にヒートシンクペーストを均一に塗布します。すべてのヒートシンク部品を取り付けてください(取り付け方法の詳細はヒートシンクのマニュアルを参照してください)。

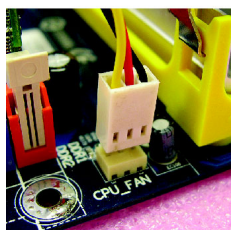


図 2
ヒートシンクの電源コネクタをマザーボード上の CPU_FAN コネクタに接続し、ヒートシンクを正常に動作させ、CPU の過熱を防止します。



注

ヒートシンクペーストの硬化により、ヒートシンクが CPU に付着する場合があります。付着を防止するには、ヒートシンクペーストの代わりにサーマルテープを使用し、熱を発散させるか、またはヒートシンクを取外す際は慎重に行ってください。

1-4 メモリの取り付け



注意

メモリモジュールを取り付ける前に、以下の手順に従ってください：

1. ご使用のメモリがマザーボードにサポートされているかどうかを確認してください。同様の容量、仕様、および銘柄のメモリをご使用することをお勧めします。
2. ハードウェアへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの取り付け/取り外し前に、コンピュータの電源を切ってください。
3. メモリモジュールは、きわめて簡単な挿入設計となっています。メモリモジュールは、一方向のみに取り付けることができます。モジュールを挿入できない場合は、方向を換えて挿入してください。

マザーボードにはデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットを2本備えます。BIOS は自動的にメモリのタイプと容量を検知します。メモリモジュールをインストールには、垂直に DIMM ソケットに押し下げます。DIMM モジュールは、ノッチにより 1 方向しかフィットできません。ソケット間のメモリ容量は異なることができます。

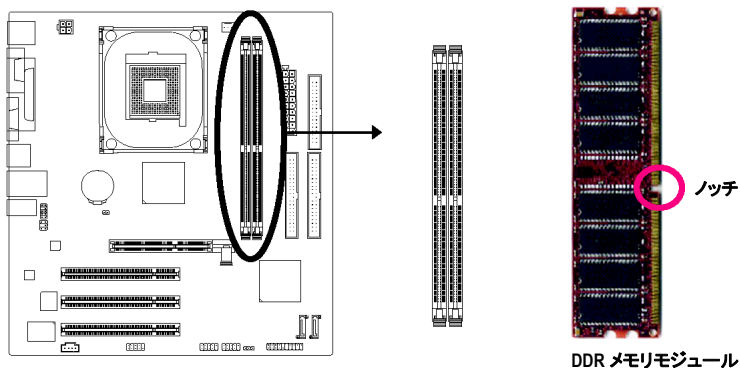


図 1
DIMM ソケットにはノッチがあり、DIMM メモリモジュールは一方向のみに挿入する必要があります。DIMM メモリモジュールを DIMM ソケットに垂直に挿入し、押し下げてください。



図 1

図 2
DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。



図 2

1-5 拡張カードのインストール

以下の手順に従い、拡張カードを取り付けてください：

1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差しします。
4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
6. コンピュータのシャーシカバーを戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カード対象の BIOS 設定を行います。
8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。

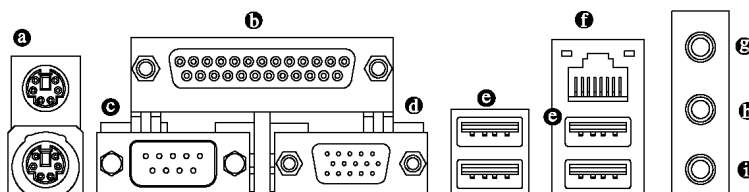
AGP 拡張カードのインストール：



注意

VGA カードの装着/取り外し時には、AGP スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。VGA カードをオンボード AGP スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる VGA カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。

1-6 I/O 後部パネルの紹介



(a) PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

PS/2 ポートキーボードとマウスを接続するには、マウスを上部ポート(緑色)に、キーボードを下ポート(紫色)に差し込んでください。

(b) パラレルポート

パラレルポートは、プリンタ、スキャナ、および他の周辺装置に接続することができます。

(c) シリアルポート(COMA)

マウス、モデムなどのデバイスをシリアルポートに接続します。

(d) VGA ポート

モニタを VGA ポートに接続します。

(e) USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

(f) LAN ポート

インターネット接続は、高速イーサネットであり、10/100Mbps のデータ転送速度が提供されます。

(g) ライン入力

CD-ROM やウォークマンなどはライン入力ジャックに接続できます。

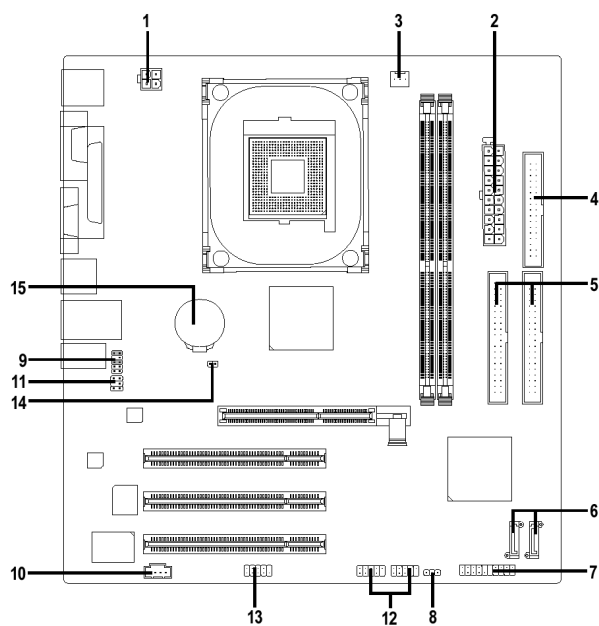
(h) ライン出力(フロントスピーカー出力)

ステレオスピーカー、イヤホンまたはフロントサラウンドチャンネルをこのコネクタに接続してください。

(i) マイク入力

マイクロホンは MIC 入力ジャックに接続します。

1-7 コネクタについて



1) ATX_12V	9) F_AUDIO
2) ATX (Power Connector)	10) CD_IN
3) CPU_FAN	11) SUR_CEN
4) FDD	12) F_USB1 / F_USB2
5) IDE1 / IDE2	13) COMB
6) SATA0 / SATA1	14) CLR_CMOS
7) F_PANEL	15) BAT
8) PWR_LED	

日本語

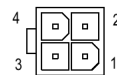
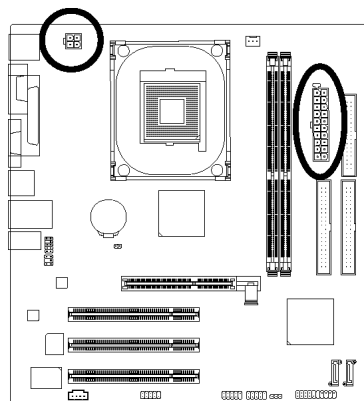
1/2) ATX_12V/ATX (電源コネクタ)

電源コネクタの使用により、安定した十分な電力をマザーボードのすべてのコンポーネントに供給することができます。電源コネクタを接続する前に、すべてのコンポーネントとデバイスが適切に取り付けられていることを確認してください。電源コネクタをマザーボードにしっかり接続してください。

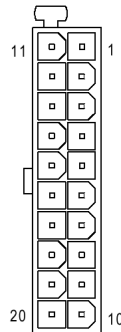
ATX_12V 電源コネクタは、主に CPU に電源を供給します。ATX_12V 電源コネクタが適切に接続されていない場合、システムは作動しません。

注意！

システムの電圧規格に適合するパワーサプライを使用してください。高電力消費(300W 以上)に耐え得る電源をご使用することをお勧めします。必要な電力を提供できないパワーサプライを使用される場合、結果として不安定なシステムまたは起動ができないシステムになります。



ピン番号	定義
1	GND
2	GND
3	+12V
4	+12V



ピン番号	定義
1	3.3V
2	3.3V
3	GND
4	+5V
5	GND
6	+5V
7	GND
8	電源装置
9	5V SB (スタンバイ+5V)
10	+12V
11	3.3V
12	-12V
13	GND
14	PS_ON (ソフトオン/オフ)
15	GND
16	GND
17	GND
18	-5V
19	+5V
20	+5V

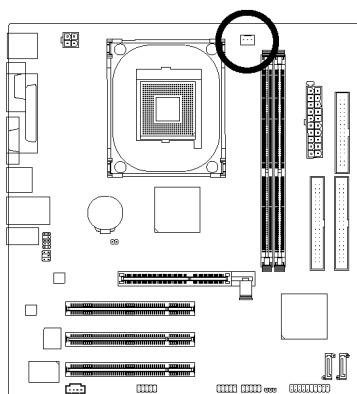
3) CPU_FAN (クーラーファン電源コネクタ)

クーラーファン電源コネクタは、3 ピン電源コネクタ経由で+12V 電圧を供給し、接続が誰でも簡単にできるよう設計されています。

ほとんどのクーラーには、色分けされた電源コネクタワイヤが装備されています。赤色電源コネクタワイヤは、正極の接続を示し、+12V 電圧を必要とします。黒色コネクタワイヤは、アース線(GND)です。

システムのオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、クーラーに電源を接続してください。

注意！ CPU のオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、CPU ファンに電源を接続してください。

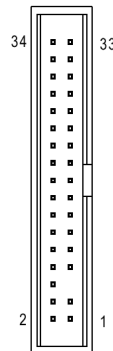
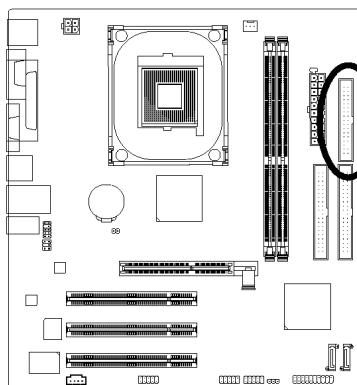


ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

4) FDD (FDD コネクタ)

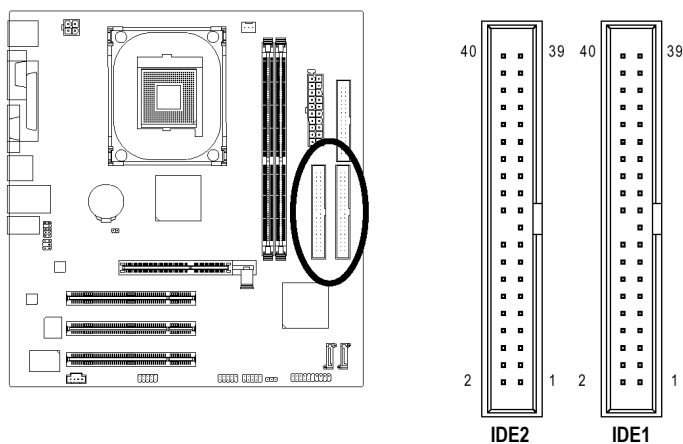
FDD コネクタは、FDD ケーブルの接続に使用し、もう一端は FDD ドライブに接続します。対応 FDD ドライブの種類は以下の通りです：360KB、720KB、1.2MB、1.44MB および 2.88MB。

赤色電源コネクタワイヤをピン 1 位置に接続してください。



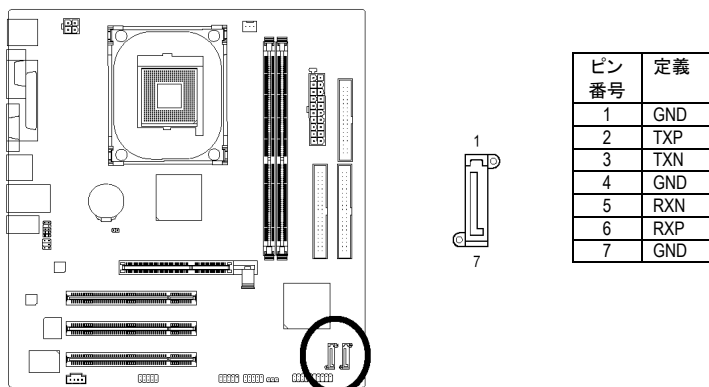
5) IDE1 / IDE2 (IDE コネクタ)

IDE デバイスは IDE コネクタによりコンピュータに接続します。1 つの IDE コネクタには 1 本の IDE ケーブルを接続でき、1 本の IDE ケーブルは 2 台の IDE デバイス(ハードドライブや光学式ドライブ)に接続できます。2 台の IDE デバイスを接続する場合は、一方の IDE デバイスのジャンパをマスターに、もう一方をスレーブに設定します(設定の情報は、IDE デバイスの指示を参照ください)。



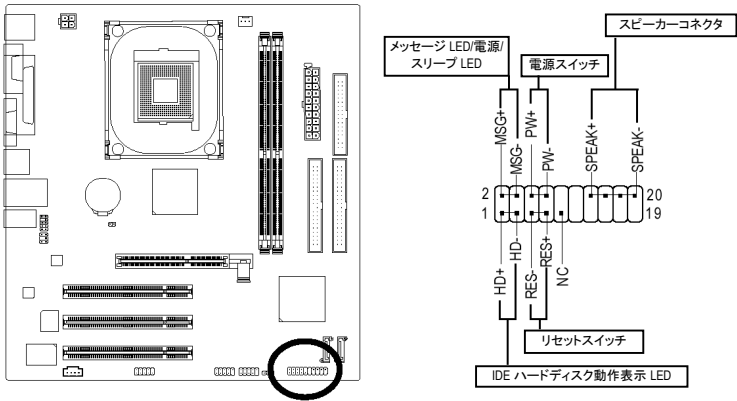
6) SATA0 / SATA1 (シリアル ATA コネクタ)

シリアル ATA は、最大 150MB/秒の転送速度を提供することができます。正しく動作させるため、シリアル ATA の BIOS 設定を参照し、適切なドライバをインストールしてください。



7) F_PANEL (フロントパネルコネクタ)

ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED、PC スピーカー、リセットスイッチおよび電源スイッチなどを以下のピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。

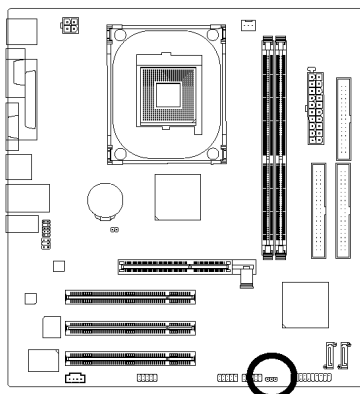


HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)	ピン 1:LED 正極(+) ピン 2:LED 負極(-)
SPEAK (スピーカーコネクタ)	ピン 1: 電源 ピン 2-ピン 3:NC ピン 4: Data (-)
RES (リセットスイッチ)	オープン: 通常 ショート: ハードウェアシステムのリセット
PW (電源スイッチ)	オープン: 通常 ショート: 電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリープ LED)	ピン 1:LED 正極(+) ピン 2:LED 負極(-)
NC	NC

日本語

8) PWR_LED

PWR_LED はシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。システムがサスペンドモードになると点滅します。

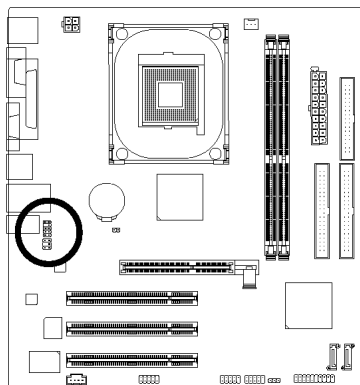


1 1 2 3

ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

9) F_AUDIO (フロントオーディオパネルコネクタ)

ケーブルのピン配列が MB ヘッダのピン配列と同一であることを確認してください。購入するシャーシがフロントオーディオコネクタに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。“フロントオーディオ”コネクタを使用するには、ピン 5-6、9-10 からジャンパを取り外す必要があります。

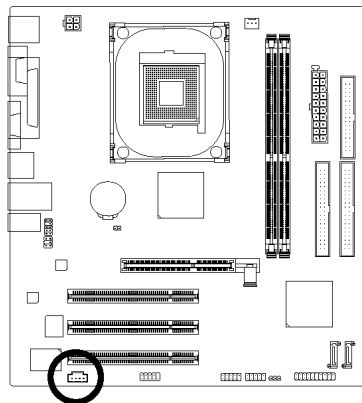


10 9
2 1

ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	MIC_BIAS
4	電源
5	フロントオーディオ(R)
6	リアオーディオ(R)/リターン R
7	NC
8	ピンなし
9	フロントオーディオ(L)
10	リアオーディオ(L)/リターン L

10) CD_IN (CD 入力コネクタ)

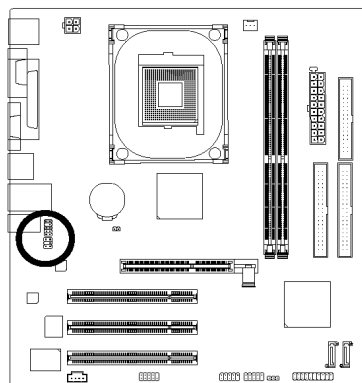
CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



ピン 番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

11) SUR_CEN

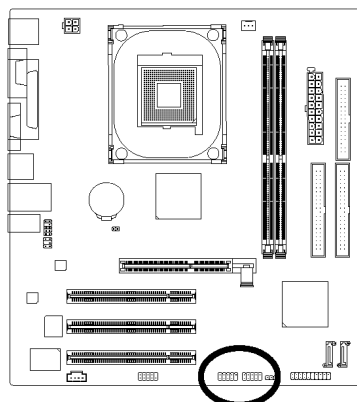
オプション装備の SUR_CEN ケーブルは最寄の販売店にお問い合わせ下さい。



ピン 番号	定義
1	SUR OUTL
2	SUR OUTR
3	GND
4	ピンなし
5	CENTER_OUT
6	BASS_OUT

12) F_USB1 / F_USB2 (フロント USB コネクタ)

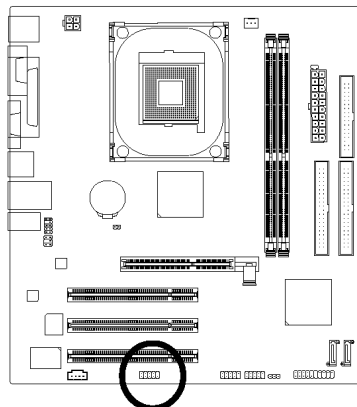
フロント USB コネクタの極性にご注意ください。フロント USB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源(5V)
2	電源(5V)
3	USB0 DX-
4	USB1 Dy-
5	USB0 DX+
6	USB1 Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

13) COMB (COMB コネクタ)

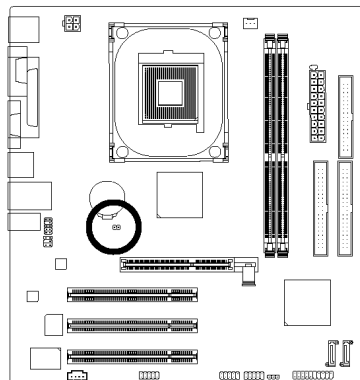
COMB コネクタの極性にご注意ください。COMB ケーブルを接続する場合は、ピン配列を確認してください。オプションの COMB ケーブルの購入に関しては、最寄の販売店にお問合せください。



ピン番号	定義
1	NDCDB-
2	NSINB
3	NSOUTB
4	NDTRB-
5	GND
6	NDSRB-
7	NRTSB-
8	NCTSB-
9	NRIB-
10	ピンなし

14) CLR_CMOS (CMOS クリア)

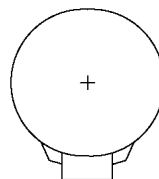
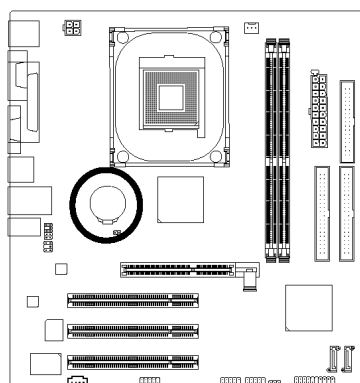
このジャンパにより、CMOS データをデフォルト値に回復することができます。CMOS をクリアするには、一時的にピン 1-2 をショートしてください。誤動作を避けるために、ここでジャンパは付属していません。



1  オープン: 通常

1  ショート: CMOS クリア

15) BAT (バッテリー)



- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. 電池を静かに外し、10 分ほど放置します (または電池ホルダーのプラス・マイナスピンを金属片で 1 分間ほどショートさせます)。
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。

日本語

[illegible]

[illegible]

日本語

[illegible]

[illegible]

日本語

[illegible]



Contact Us

● Taiwan (Headquarters)

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.
Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei 231, Taiwan
TEL: +886-2-8912-4888
FAX: +886-2-8912-4003
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address (English): <http://www.gigabyte.com.tw>
WEB address (Chinese): <http://chinese.giga-byte.com>

● U.S.A.

G.B.T. INC.
TEL: +1-626-854-9338
FAX: +1-626-854-9339
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.giga-byte.com>

● Germany

G.B.T. TECHNOLOGY TRADING GMBH
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.de>

● Japan

NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION
WEB address : <http://www.gigabyte.co.jp>

● Singapore

GIGA-BYTE SINGAPORE PTE. LTD.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.com.sg>

● U.K.

G.B.T. TECH. CO., LTD.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://uk.giga-byte.com>

● The Netherlands

GIGA-BYTE TECHNOLOGY B.V.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.giga-byte.nl>

- **China**

NINGBO G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.com.cn>

Shanghai

TEL: +86-021-63410999
FAX: +86-021-63410100

Beijing

TEL: +86-10-62102838
FAX: +86-10-62102848

Wuhan

TEL: +86-27-87851061
FAX: +86-27-87851330

GuangZhou

TEL: +86-20-87586074
FAX: +86-20-85517843

Chengdu

TEL: +86-28-85236930
FAX: +86-28-85256822

Xian

TEL: +86-29-85531943
FAX: +86-29-85539821

Shenyang

TEL: +86-24-23960918
FAX: +86-24-23960918-809

- **Australia**

GIGABYTE TECHNOLOGY PTY. LTD.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.giga-byte.com.au>

- **France**

GIGABYTE TECHNOLOGY FRANCE S.A.R.L.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.fr>

- **Russia**

Moscow Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.ru>

- **Poland**

Office of GIGA-BYTE TECHNOLOGY Co., Ltd. in POLAND
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.pl>

- **Serbia & Montenegro**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in SERBIA & MONTENEGRO
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.co.yu>

- **Czech Republic**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in CZECH REPUBLIC
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.cz>

- **Romania**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in Romania
Tech. Support :
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
WEB address : <http://www.gigabyte.com.ro>
